# 平成26年２月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年７月12日


上 場 会 社 名　　株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7829　　URL　http://www.samantha.co.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)寺田　和正
問合せ先責任者　(役職名)常務取締役　　(氏名)菅原　隆司　　(TEL)03(5412)8193

四半期報告書提出予定日　　平成25年７月12日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

## １．平成26年２月期第１四半期の連結業績（平成25年３月１日～平成25年５月31日）

### （１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年２月期第１四半期 | 7,135 | △11.4 | 516 | 110.7 | 650 | 190.2 | 466 | ― |
| 25年２月期第１四半期 | 8,054 | 5.1 | 244 | △35.4 | 224 | △40.8 | 36 | △88.9 |

(注)　包括利益　26年２月期第１四半期　472百万円( ― %)　25年２月期第１四半期　△83百万円( ― %)

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年２月期第１四半期 | 1,320 72 | ― |
| 25年２月期第１四半期 | 102 35 | ― |

(注) 当社は、平成25年６月１日付で普通株式１株を２株とする株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年２月期第１四半期 | 15,879 | 8,440 | 52.4 |
| 25年２月期 | 14,606 | 8,112 | 54.7 |

(参考)　自己資本　26年２月期第１四半期　8,317百万円　　25年２月期　7,989百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年２月期 | ― | 800 00 | ― | 800 00 | 1,600 00 |
| 26年２月期 | ― | | | | |
| 26年２月期(予想) | | 400 00 | ― | 400 00 | 800 00 |

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成26年２月期(予想)の期末１株当たり配当金については、平成25年６月１日付の普通株式１株を２株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

## ３．平成26年２月期の連結業績予想（平成25年３月１日～平成26年２月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第２四半期(累計) | 13,000 | △3.7 | 600 | 95.4 | 550 | 117.4 | 200 | ― | 566 64 |
| 通期 | 28,000 | 1.9 | 1,800 | 79.5 | 1,700 | 80.9 | 700 | ― | 1,983 23 |

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
平成26年２月期の連結業績予想における１株当たり当期純利益については、平成25年６月１日付の普通株式１株を２株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―　社（社名）　　、除外　―　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年２月期１Ｑ | 352,960株 | 25年２月期 | 352,960株 |
| ②　期末自己株式数 | 26年２月期１Ｑ | ― 株 | 25年２月期 | ― 株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 26年２月期１Ｑ | 352,960株 | 25年２月期１Ｑ | 352,960株 |

（注）当社は、平成25年６月１日付で普通株式１株を２株とする株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（その他特記事項）

当社は、平成25年４月15日及び５月22日開催の取締役会決議に基づき、平成25年６月１日を効力発生日として普通株式１株を２株とする株式分割を実施いたしました。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する説明 …… 2
（２）連結財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5

３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（重要な後発事象） ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の積極的な経済・金融政策に対する期待感から円安・株高が進行し、景況感には改善の動きが見られたものの、実態経済の回復までには至っておらず、雇用・所得環境は厳しい状況が続くなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましては、景気回復の期待感を背景に個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、全般的に堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、「良い人、良い場所、良い商品、良い宣伝」の実施を事業戦略にかかげ、効果的な店舗展開と積極的なプロモーション活動及び商品戦略などを展開してまいりました。

・店舗展開について

バッグ事業においては、平成25年４月26日に大阪駅北側に開業した話題性の高い大型複合施設であるグランフロント大阪に「サマンサタバサデラックスプラス グランフロント大阪店」を出店するなど合計８店舗を展開いたしました。

ゴルフ事業においては、日本最大級のゴルフ売場として有名な名古屋松坂屋に「Ｕ２５＆Ｎｏ．７ サマンサタバサ　名古屋松坂屋店」を出店し、新宿の小田急百貨店にも「Ｕ２５＆Ｎｏ．７ サマンサタバサ　新宿小田急ハルク店」を出店しました。さらに宮崎県の国際リゾート施設であるフェニックスシ・シーガイア・リゾート内にも「サマンサタバサ トム・ワトソンゴルフコース店」を出店し、サマンサタバサのバッグとゴルフアパレルの複合店舗という新業態を展開するなど合計３店舗を出店いたしました。

さらに、アパレル事業においても「リッチミーニューヨーク 横浜タカシマヤ店」を出店いたしました。また、アウトレット事業においては、成田空港からもアクセスが便利な大型アウトレット施設である酒々井プレミアム・アウトレットに、「サマンサタバサ ネクストページ酒々井店」を出店いたしました。その結果、サマンサタバサグループ合計で13店舗を出店することができました。

また、旗艦店である「サマンサタバサＤＥＬＵＸＥ 表参道ＧＡＴＥＳ店」のリニューアルも行い、ホログラムによる立体的なビジュアルを使った最新のディスプレイを店内に設置するなど、ＣＭと連動した店舗展開を推進いたしました。

・プロモーション活動について

バッグ事業においては、「Samantha Thavasa × カワイイ × Art」の融合をテーマとして、若手クリエイターが描き出す12か月の季節や行事に合わせた12種類のアートビジュアルに、世界で最も活躍しているファッションモデルの１人である「ミランダ・カー」が出演する「Samantha Thavasa 2013ＣＭ」の放映を行ってきました。

また、「ファッションと音楽の融合」をテーマに、板野友美さんの４ｔｈシングル「1%」と連動したスペシャルコラボレーションＣＭとして、板野友美さんと、女優やボーカリストとして世界的にも有名な「テイラー・モムセン」が、ファッションの聖地であるニューヨークのソーホーで撮影した「Samantha Vega×板野友美 loves テイラー・モムセン in NEW YORK」のＣＭ放映も行いました。

ジュエリー事業においては、「すべての女性に華やかな輝きと幸せを」をテーマとして、サマンサミューズの蛯原友里さん、山本美月さん、土屋巴端季さん、板野友美さんが出演するサマンサタバサ

のジュエリーブランド「Samantha Tiara」「SAMANTHA SILVA by Samantha Tiara」のＣＭ放映を行いました。

さらに、アパレル事業においては、当社グループのアパレルブランド「WILLSELECTION」の初となるＣＭ放映も行いました。大人気アイドルグループＡＫＢ48の島崎遥香さん、菊地あやかさんが出演し、「女性であることを楽しむ、ファッションを楽しむ」をコンセプトに、商品やブランドの魅力を発信いたしました。

また、ゴルフ事業においては、平成25年３月に開催された「アクサレディス ゴルフトーナメント in MIYAZAKI」において優勝した堀奈津佳プロをはじめ、若手女子プロゴルファーの香妻琴乃プロ、山村彩恵プロの３選手プロと所属契約、そして原江里菜プロ、青木瀬令奈プロ、嶋田江莉プロとウェア契約を締結しました。全契約プロが、サマンサタバサのゴルフブランド「UNDER25 Samantha Thavasa」、または「No.7 Samantha Thavasa」のウェアを着てトーナメント出場を含むすべてのゴルフ活動を行っており、日本中の全ての女性達に、ゴルフをより身近でよりファッショナブルに、ゴルフの魅力と楽しさを伝えております。

・商品戦略について

各ブランド事業において2013年春夏コレクションの新作を販売し、多様化するファッションニーズに応える商品を積極的に展開してきました。バッグ事業においては、注目商品である「サマンサアゼル」「サマンサ ヴェール」を、ジュエリー事業においては、「フラワーレターズ」「フラワーインフィニティ」を中心に、ＣＭ・雑誌・店頭・ＷＥＢなどと連動したプロモーション戦略が奏功し、売上の拡大につなげることができました。特に、平成25年３月に当社のジュエリーブランドである「Samantha Tiara」については、消費者ニーズに対応した高い商品力が評価され、ファッション業界に貢献した企業・団体・個人に贈られる「第31回（2012年度）百貨店バイヤーズ賞」（繊研新聞社主催）を受賞いたしました。

さらに、商品の魅力をより高めるコラボレーションも継続して行い、当第１四半期連結累計期間においては、雑誌とのコラボレーションによるバッグや、人気モデル・スタイリストがデザインしたシューズを発売いたしました。さらに、総合オンラインショッピングサイトＡmazon.co.jpのKindleストアにおいて、電子書籍リーダーKindleの専用カバーとして、サマンサタバサ人気シリーズである「サマンサ　マリッサ」、「サマンサ　フローラ」シリーズを販売いたしました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は71億35百万円(前年同期比11.4％減)、売上総利益は48億58百万円(前年同期比0.1％増)、営業利益は５億16百万円(前年同期比110.7％増)、経常利益は６億50百万円(前年同期比190.2％増)、四半期純利益は４億66百万円(前年同期比1,190.4％増)となりました。

（２）連結財政状態に関する説明

(資産)

総資産は158億79百万円であり、前連結会計年度末と比較して12億72百万円増加しております。主な増加要因は、現金及び預金が８億27百万円、商品及び製品が６億90百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

総負債は74億39百万円であり、前連結会計年度末と比較して９億45百万円増加しております。主な増加要因は、支払手形及び買掛金が３億17百万円、短期借入金が９億60百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は84億40百万円であり、前連結会計年度末と比較して３億27百万円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年４月12日の決算短信で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、平成25年６月４日付で開示した株式会社ラ・エストの子会社化に伴う当社連結業績への影響は、現在精査中であります。

## ２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

### （１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年２月28日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成25年５月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,198,619 | 4,026,110 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,852,066 | 2,169,984 |
| 商品及び製品 | 4,334,540 | 5,024,581 |
| 仕掛品 | － | 10,854 |
| 原材料及び貯蔵品 | 172,425 | 186,979 |
| その他 | 726,419 | 628,120 |
| 貸倒引当金 | △628 | △1,509 |
| 流動資産合計 | 10,283,443 | 12,045,121 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,078,601 | 1,155,502 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 34,229 | 33,618 |
| その他 | 238,736 | 239,086 |
| 無形固定資産合計 | 272,966 | 272,705 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 2,043,914 | 1,831,043 |
| その他 | 927,317 | 574,698 |
| 投資その他の資産合計 | 2,971,231 | 2,405,741 |
| 固定資産合計 | 4,322,799 | 3,833,949 |
| 資産合計 | 14,606,242 | 15,879,070 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,365,671 | 1,682,877 |
| 短期借入金 | 600,000 | 1,560,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,259,000 | 987,200 |
| 未払法人税等 | 315,467 | 132,891 |
| 賞与引当金 | 144,000 | 289,229 |
| その他 | 999,892 | 1,085,943 |
| 流動負債合計 | 4,684,030 | 5,738,141 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,709,500 | 1,598,510 |
| その他 | 100,264 | 102,368 |
| 固定負債合計 | 1,809,764 | 1,700,878 |
| 負債合計 | 6,493,795 | 7,439,019 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,132,600 | 2,132,600 |
| 資本剰余金 | 2,252,600 | 2,252,600 |
| 利益剰余金 | 3,642,182 | 3,967,160 |
| 株主資本合計 | 8,027,382 | 8,352,360 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,338 | 14,791 |
| 為替換算調整勘定 | △44,766 | △49,283 |
| その他の包括利益累計額合計 | △37,427 | △34,491 |
| 少数株主持分 | 122,492 | 122,182 |
| 純資産合計 | 8,112,447 | 8,440,051 |
| 負債純資産合計 | 14,606,242 | 15,879,070 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年５月31日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成25年３月１日<br>至　平成25年５月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 8,054,464 | 7,135,863 |
| 売上原価 | 3,200,452 | 2,277,331 |
| 売上総利益 | 4,854,012 | 4,858,532 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,609,035 | 4,342,407 |
| 営業利益 | 244,976 | 516,124 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,833 | 121 |
| 補助金収入 | － | 2,302 |
| 為替差益 | － | 87,934 |
| 償却債権取立益 | － | 51,900 |
| その他 | 4,470 | 1,503 |
| 営業外収益合計 | 7,303 | 143,761 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12,602 | 9,226 |
| 為替差損 | 12,809 | － |
| その他 | 2,771 | 270 |
| 営業外費用合計 | 28,183 | 9,496 |
| 経常利益 | 224,096 | 650,389 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | － | 105,570 |
| 負ののれん発生益 | － | 41,232 |
| 特別利益合計 | － | 146,802 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,355 | 3,938 |
| 関係会社整理損 | 111,425 | － |
| その他 | 9,236 | － |
| 特別損失合計 | 122,017 | 3,938 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 102,079 | 793,252 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 30,940 | 42,071 |
| 法人税等調整額 | 100,986 | 296,204 |
| 法人税等合計 | 131,927 | 338,276 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △29,848 | 454,976 |
| 少数株主損失（△） | △65,974 | △11,185 |
| 四半期純利益 | 36,126 | 466,161 |

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年５月31日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成25年３月１日<br>至　平成25年５月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △29,848 | 454,976 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,168 | 7,452 |
| 為替換算調整勘定 | △51,539 | 9,684 |
| その他の包括利益合計 | △53,707 | 17,137 |
| 四半期包括利益 | △83,555 | 472,113 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △6,499 | 472,423 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △77,056 | △309 |

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年３月１日　至　平成24年５月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|
| | ファッションブランドビジネス | ファッションｅコマースビジネス | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,018,625 | 2,035,839 | 8,054,464 | ― | 8,054,464 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 56,902 | ― | 56,902 | △56,902 | ― |
| 計 | 6,075,527 | 2,035,839 | 8,111,367 | △56,902 | 8,054,464 |
| セグメント利益又は損失（△） | 339,355 | △93,127 | 246,228 | △1,251 | 244,976 |

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△1,251千円は、主にセグメント間取引消去であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．　報告セグメントごとの資産に関する情報

当第１四半期連結会計期間において、連結の範囲の変更により、前連結会計年度の末日に比べ、当第１四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、ファッションｅコマースビジネスで4,764,068千円減少しています。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年３月１日　至　平成25年５月31日）

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

取得による企業結合

当社は、平成25年６月４日開催の取締役会において、株式会社ラ・エストの株式取得及び子会社化について決議を行い、同日付で株式譲渡契約を締結し、平成25年６月10日付で全株式を取得しております。

１．株式取得の目的

当社が株式会社ラ・エストを子会社化することで、当社の100%子会社である株式会社バーンデストジャパンリミテッドが展開しているアパレル部門の事業拡大につながり、ひいては、当社グループ企業価値の向上につながると判断したためであります。

２．株式取得の相手会社の概要

（１）名称　　株式会社ラ・エスト

（２）所在地　　東京都渋谷区南平台17-17

（３）資本金の額　　20,000千円（平成25年５月末現在）

（４）事業の内容　　アパレル事業

３．株式取得の時期

平成25年６月10日

４．取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

（１）取得する株式の数　40,000株

（２）取得価額　　1,600,000千円（注）

（３）取得後の持分比率　100.0%

（注）アドバイザリー費用等の取得に直接要した費用については、含めておりません。

５．取得資金の調達方法

自己資金